



経験者が語る国際機関での グローバルキャリア ～SDGs に向けて



2018年9月21日 金曜日 14:00～16:00

場所: つくば国際会議場 4F 小会議室403

参加無料(無料参加券購入方法は下記参照)

国際機関でのグローバルキャリアは、SDGs達成に直結する多種多様なチャレンジの機会を与えてくれます。

本イベントでは、国連や世界銀行といった国際機関の最前線で活躍してきた3人のエキスパート(裏面参照)が、自身の経験に基づきながら、国際機関でグローバルキャリアを追求することの意義、醍醐味、チャレンジ、要求される能力等についてざっくばらんに話し、会場の皆様からのご質問にお答えします。

- **場所: つくば国際会議場/ 4階 小会議室403**
 - アクセス情報: <https://www.epochal.or.jp/access/>
 - 秋葉原駅からつくば駅まで「つくばエクスプレス」で45分(快速)、つくば駅から徒歩10分で会場到着
- **定員: 約50人(先着順/ 部屋のキャパシティの都合上)**
- **参加費: 無料**
 - 参加希望者はTGSW(Tsukuba Global Science Week) 2018のウェブサイト(<https://tgs.w.tsukuba.ac.jp/>)の「事前登録」をクリック頂き、①「チケットを申し込む」→②「無料入場券」(必要枚数を記入)→③「氏名・所属・役職」を記入/「参加予定セッション」(2-11「経験者が語る国際機関でのグローバルキャリア～SDGsに向けて」)をクリック)→④「確認画面」→⑤「チケットを申し込む」の過程を経て、無料入場券をご入手ください。
- **使用言語: 日本語**
 - Q&Aの際に英語でもご質問頂けます
- **対象者: 国際機関でのグローバルキャリアに興味のある方ならどなたでも**
 - 高校生の方も大歓迎
- **ネットワーキングセッション(軽食とドリンク付/参加無料)**
 - なお本セッション当日の12:30～14:00及び17:00～19:00に、TGSW 2018の全参加者を対象としたネットワーキングセッション(軽食とドリンク付/参加無料)がつくば国際会議場1Fで開催されますので、こちらもぜひご参加ください。

本イベントは、本年9月20日(木)～22日(土)に開催される筑波大学主催イベント、TGSW(Tsukuba Global Science Week) 2018の中の一つのセッションとして実施されます。TGSW2018では、開催期間3日間において、Driving Sustainable Developmentというメインテーマに関連する40以上のセッションが開催され、世界の様々な国からの参加者がつくば国際会議場に集います。



本イベントに関する質問先: kodama.toru.fu@u.tsukuba.ac.jp

<本イベントに登壇予定の3人のエキスパート>

井上 健

JICA国際協力専門員/ 元UNMIT(東チモール)チーフガバナンスアドバイザー / 元UNMIK(コソボ)市行政長官



井上健氏は、2015年4月から国際協力機構（JICA）の民主化支援・ガバナンス担当の国際協力専門員を務めている。それ以前は、国連平和維持活動に参加し、東ティモールのUNMIT（チーフガバナンスアドバイザー）、コソボのUNMIK（市行政長官）、ソマリアのUNOSOM II（広域人道援助官）、カンボジアのUNTAC（副行政長官）に勤務した。また東京にある国際機関アジア生産性本部（APO）、ジュネーブにある国連ボランティア本部、バンコクのカンボジア問題人道援助担当国連事務総長特別代表事務所、トリニダードトバゴの国連開発計画事務所、ワシントンの世界銀行本部などでも勤務した。2013年より、国連訓練調査機関（UNITAR）のPKO訓練に関する諮問委員会のアドバイザーも務める。獨協大学、京都女子大学、東洋大学などで教鞭をとり、また各地の大学で講演活動も行っている。早稲田大学政経学部より政治学士号、サセックス大学開発研究所（IDS）より開発学修士号取得。

ボリコ M. チャールズ

FAO(国連食料農業機関)駐日連絡事務所 所長



Mbuli Charles Boliko氏はコンゴ民主共和国出身、キサンガニ大学で学士（心理学）及び修士（産業心理学）取得。キンシャサにある商科大学（Institut Supérieur de Commerce）で3年間教鞭を執った後、1990年来日し名古屋大学大学院国際開発研究科より国際開発論で博士号を取得。1年程名古屋大学での講師の後、1997年より国際連合食糧農業機関（FAO）に勤務。1998年から2003年迄FAOニューヨーク連絡事務所、2003年より事務局長官房付としてローマ本部へ異動。2009年からはFAO人事部雇用・配属担当チーフ。2013年8月、FAO駐日連絡事務所の初の外国人所長として着任。FAOでの勤務の傍ら客員教授として人事管理及び行政・開発について母国コンゴ民主共和国・カトリック大学で教鞭も執る。

大森 功一

世界銀行 東京事務所 上級広報担当官



大学でのアジアの歴史的都市保存・開発分野の研究プロジェクトの研究員、キャリアセンターのアドバイザーなどを経て、2000年世界銀行入行。東京事務所広報担当官としてNGOシビルソサエティ、大学、企業との連携構築、世界銀行情報センター（PIC東京）の企画運営などに従事した後、2010年よりワシントン本部にて、南アジア地域担当副総裁補佐官。2014年5月より東京事務所勤務、2015年11月より現職。立命館大学大学院国際関係研究科修士課程修了、アメリカン大学国際関係大学院修士課程修了。

<オーガナイザー>



児玉 徹 筑波大学准教授/ 一般財団法人国際貿易投資研究所客員研究員

株式会社電通、九州大学芸術工学部准教授（知的財産法政策）、コロンビア大学ロースクール等客員研究員、駐日スウェーデン大使館科学イノベーション部アナリスト等を経て、現職。一般財団法人国際貿易投資研究所客員研究員、国立民族学博物館外来研究員を兼務。東京都立大学卒、大阪大学大学院国際公共政策研究科修士修了、博士中退。英国で法曹養成課程を修了。英国弁護士会会員。ロンドン大学キングスカレッジ校ロースクールよりLL.M.取得。阪大大学院生時代に、国連ボランティア計画のジュネーブ本部及びカンボジア支部においてインターンを実施。